



やまびこ

仙北市立
西明寺中学校報

令和4年12月9日
No.31

TEL 0187-47-2626 FAX 0187-47-2633 http://www.city.semboku.akita.jp/sc_saichu

□明日も行きたくなる学校

5日(月)～16日(金)の2週間、生徒会が主催する「明日も行きたくなる学校運動」が行われています。これは、生徒玄関に掲示されている5つの取組(下の写真)を強化する活動です。毎日の帰りの会で振り返りを行い、運動期間終了後に執行部で振り返りシートを集計して、取組状況を評価する予定です。自然体で、5つの取組ができるようになりたいものです。



□鎌足和紙学習会

8日(木)の6時間目に、3年生が学習会を行いました。16日(金)にかたくり館で、鎌足和紙の紙すきを体験します。これは、西明寺小学校と西明寺中学校特色ある取組の一つです。八柳様のお話の後に4人の生徒が質問をして、鎌足和紙は保存状態がよければ数百年もつことや紙をすくためには特に資格等が必要ないこと、昔は障子紙や襖紙としても使われていたことを教えてもらいました。心を込めて漉いた和紙が、味わいのある卒業証書になるのが楽しみです。

明日も行きたくなる学校



明日も行きたくなる西中にするための五箇条

- さい 中学生全員が気持ちよく生活できるようにルールを守る。
- い つどんなどきでも必ず反応する。
- ち ゅういし合い褒め合える関係になる。
- ゆ うきをもって自分から行動する。
- う れしくなるような状況に応じた挨拶をする。

※「明日も行きたくなる学校」は、平成21年に田口校長先生が、目指す学校像として示したものです。それから14年間、この取組が受け継がれています。

□入賞おめでとう

第44回本荘由利卓球選手権大会
中2女子 第3位 W.Aさん
前号で紹介した税の作文入賞のH.Sさんとともに、8日(木)に表彰を行いました。

鎌足和紙について

鎌足和紙づくりは、寛延年間(1748～1751)に奥日光から小山田村小原気弥八屋敷に移住した西宮三左エ門が始めたと言われています。

江戸時代に佐竹北家で製本した「花葉集」に鎌足和紙が使われており、今なお色あせずに当時の鮮やかさを保っています。200年近い年数を経ても虫食いをのがれているものも多く、紙すきの技法に防虫剤の工夫もあったと考えられています。

明治時代の中頃に作り手が途絶えてしまいましたが、平成11年に地域の有志の皆さんの活動により復活しました。

